

《令和版》

ホニ学のススメ



西東京市立保谷第二小学校

保谷第二小学校の教育

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎になるものです。特に、「受容し、かかわる心」「思考し、判断する知」「挑戦し、やり抜く体」は、欠かすことのできない、生き抜くための力です。保谷第二小学校では、持続可能な社会と平和な国際社会の創造に貢献できる子供の育成を目指し、「かかわる子」「判断する子」「やりぬく子」という教育目標を定めています。

教育目標の達成に努めます

かかわる子

- ・元気で明るい挨拶ができる子
- ・周りの人の気持ちが分かる子
- ・助け合い、協力できる子
- ・異年齢で遊ぶことができる子
- ・自分の役割が分かる子
- ・豊かな言葉遣いができる子

判断する子

- ・課題に正対できる子
- ・学びを問題解決に活用できる子
- ・多面的・多角的に物事をとらえる子
- ・学ぶ喜びを感じる子
- ・善悪を見分け、選択できる子

やりぬく子

- ・目標を持ちあきらめずに取り組む子
- ・授業に集中できる子
- ・運動に親しむ子
- ・家庭学習習慣が身に付いている子
- ・清掃に汗を流す子

学校・家庭・地域が協同・協働し、子供たちの家庭学習の習慣化を図ることで基礎的・基本的な資質・能力が定着し高められるものです。本校での学びを学校・家庭・地域で共有するために、「ホニ学のスズメ」を発行しています。本校の学びの基軸とし、毎日の授業や家庭生活の中でご利用いただき、子供たちに温かいご支援をお願いします。

「ホニ学のスズメ」のよみ方

1 家庭学習の進め方

音読や漢字学習のポイントなどを示してあります。「家でどんな学習をさせればよいのか分からない」「学校ではどうしているのかしら。」といったご家庭からの声にお応えして、学習の意義や家庭学習のやり方を説明してあります。〈音読〉〈漢字練習〉〈計算練習〉〈日記〉〈読書〉について具体的に書かれています。

2 学習への向かい方

学習の準備から授業に向かう姿勢や約束ごとについて、本校で育てたいと考えている姿を示しています。また、各学年の学習に必要な用具についても、細かく書かれていますので、ご確認ください。

3 学習の内容

学校で学ぶ教科等の特性や大切さ、学習の方法、ノートの取り方など、写真を示して説明しています。発達段階に合わせ全校共通のやり方で系統的な学習を行うことで、6年間を通して子供たちは、安心して学習を積み上げていくことができます。

この「ホニ学のスズメ」を活用して、学習の取り組み方や家庭学習の方法を子供に教えてあげてください。家族で話し合い、家族のふれあいの機会が増えることにより、子供の精神安定にもつながり、心身ともに健やかに育っていくことでしょう。この「ホニ学のスズメ」を手掛かりとし、学校・家庭・地域が協同・協働することで、心身ともに健全な子供たちを育てていきましょう。

1 家庭学習の進め方

(1) やる気を高めよう

まず、「できること」「得意なこと」から始めましょう。

自分ができることや得意なことから自主的に学習を始めると、学習を進めていく間に色々な力が付いてきます。

主体的に学ぶことで学習を深く捉えることができます。

新しいことができるようになり、自信を持つことができます。

分かること、できることが増えてくると次への学習意欲が、さらに高まり、友達と一緒に学び合い、かかわり合いながら学習を深めることができます。

学習を通して、知識や技能だけでなく、人として大切な生き抜く心と力を培ってください。そのためにも、必ず続けられることを自分で決めて毎日実行するとよいでしょう。続けていくうちに、分かった時の楽しさや喜びが味わえ、喜びはやる気へとつながっていきます。やる気が高まれば、より深い内容を学習することができるでしょう。

(2) 家庭学習の習慣を身に付けよう

家庭学習の習慣を身に付けるために、毎日宿題を出します。宿題の内容は、音読練習（読むこと）、漢字練習（書くこと）、計算練習（計算すること）を三つの柱とし、日記（文章表現）にも取り組みます。

毎日の宿題に取り組むことで、学習する習慣を身に付けるとともに、読むこと、書くこと、計算することの基礎学力をしっかりと身に付けることをねらいとしています。特に、6年生は中学校に向けての準備となります。

～家庭学習の進め方～

学校から帰ったらすぐに取り組む、夕食を食べる前に取り組むなど、毎日決まった時に取り組むようにすると良い習慣が身に付きます。

取り組む時間は、学年や学習内容によって異なる場合もありますが、10分間×学年が標準的な時間といえます。（例：6年生は、10分間×6学年＝60分間）

取り組んだあとには、すぐに答え合わせをして、丸付けをします。すぐに間違えたところに気付き、やり直しをすることで、学習内容が正しく定着し、理解を深めることができます。

※ [保護者の方へ]

中学年・高学年は、答えを見ながら自分で丸付けをします。

低学年は、できる限り保護者の方が丸付けをして、励ましてあげてください。

<音読>

文章を声に出して読むことは大切な学習です。多くの文章に触れることで、自然に文字や言葉を覚えることができます。文章を目で追いながら、自分の出した声を自分の耳で聞くことで、読み流しや読み飛ばしがなくなり、文章をしっかりと読み上げることができ、文章読解力が高まるのです。

音読のめあて

低学年	大きな声で読む。しっかり口をあけて、はっきりと読む。すらすら読む。気持ちを込めて読む。「、」や「。」に気を付けて読む。ゆっくり読む。
中学年	言葉のまとまりで読む。言葉や文の意味を考えながら読む。漢字を正しく読む。気持ちや場面の情景を考えて読む。暗記する。
高学年	分かりやすい速さや間の取り方を考えて読む。気持ちや場面の情景を考えて抑揚をつけて読む。

[保護者の方へ] 音読をする時は、保護者の方が音読を聞き、音読カードにサインをお願いします。

<漢字練習>

丁寧な字で書き順に気を付けて書きましょう。鉛筆でとめ・はね・はらい・おれに気を付けて力強く大きな字で書きます。

音読み、訓読み、画数、部首などもノートに書きます。熟語や短文作りも工夫して行いましょう。

日付、曜日、漢字ドリルの番号などを書きます。

熟語とその意味を辞書で調べて書きます。

漢字ドリルの問題番号を書きます。縦書きで短文を練習します。

マスがあまらないうちに無駄なく練習していきます。

[保護者の方へ] ・間違いがないか見てあげてください。

・きれいに書けたことをたくさん認め、次へのやる気につなげてください。

<計算練習>

何度も繰り返し、基礎基本の定着を図っていきます。
間違えたときには、なぜ間違えたのかを確かめて、赤で直します。

日付、曜日、
計算ドリルの
番号などを
書きます。

たし算、ひき算、
かけ算、わり算の
筆算は、必ず定規
を使って線を引
きます。

5-29火

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-	=
ドリル①												
①	5	8	②	3	7	③	9	4				
-	3	1	-	1	7	-	2	0				
2		7	2		0	7		4				
④	6	5	⑤	8	0	⑥	5	6				
-	6	1	-	3	0	-	4	4				
4		5		0	5		2					
⑦	8	7	⑧	2	9	⑨	9	3				
-	5	-		6	-		3					
8		2	2		3	9		0				
⑩	4	7	3	10	6	10						
-	7	⑪	4	2	⑫	7	5					
4		0	-	1	8	-	2	9				
2		4	4		6							

①、②、③など、問題の
番号をしっかりと書き
ましょう。
筆算と筆算の間は、1
行以上マスをあけて書
きましょう。

[保護者の方へ]・間違いがないか見てあげてください。

- ・間違いがあった時は、もう一度やり直してできるようにしてあげてください。
- ・できたこと、最後までがんばったことをたくさん認め、次のやる気につなげてください。

<日記>

週に1度(原則として週末)、日記を書きます。放課後や週末のできごとや今、考えていること、感じていること、行事を終えてのふりかえり等、学年によって、テーマを決めて書きます。

書く習慣を付けることで、自分の考えや思いを分かり易く、相手に伝わるように書く力を育みます。

<読書>

[保護者の方へ]

本校では、司書教諭と連携し、図書室にホニホニ推薦図書30冊を置いています。(複本も準備します)また、西東京市立図書館より、推薦図書を学級文庫として1年間借りて、読書活動を奨励しています。年間100冊以上読んだら表彰状を渡します。

1年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あおくんときいろちゃん	レオ レオーニ	至光社
2	あおちゃんてね	星川ひろこ	小学館
3	なつのゆきだるま	ジーン・ジオン	岩波書店
4	えんぴつびな	長崎源之助作 長谷川知子絵	金の星社
5	王様と九人のきょうだいー中国の民話	君島久子訳 赤羽末吉絵	岩波書店
6	おやすみなさいフランス	ラッセル・ホーバン文 ガース ウィリアムズ絵	福音館書店
7	かえるのエルタ	中川李枝子	福音館書店
8	きつねのおきゃくさま	あまんきみこ作 二俣英五郎絵	サンリード
9	くまの子ウーフ	神沢利子	ポプラ社
10	くんちゃんのはじめてのがっこう	ドロシー マリノ	岩波書店
11	あれあれ？そっくり	今森光彦	ブロンズ新社
12	こぎつねコンチ	中川李枝子	のら書店
13	三びきのやぎのがらがらどん 北欧民話	マーシャ・ブラウン絵 せたえいじ訳	福音館書店
14	ジェインのもうふ アメリカどうわ	アーサ＝ミラー	偕成社
15	すずめのおくりもの	安房直子	講談社
16	しずかに！ここはどうぶつのとしょかんです	ドン・フリーマン	BL 出版
17	ちからたろう	いまえよしとも文 たしませいぞう絵	ポプラ社
18	チムとゆうかなせんちょうさん	エドワード＝アーディゾーニ＝ニ文絵	福音館書店
19	ともだちやもんな、ぼくら	くすのきしげのり作 福田岩緒絵	えほんの社
20	ハキちゃんの「はっぴょうします」	薫くみこ	佼成出版
21	はじめてのキャンプ	林明子	福音館書店
22	はなのすきなうし	マンロー リーフおはなし ロバートローソン絵	岩波書店
23	ひつじぐものむこうに	あまんきみこ作 長谷川知子絵	文研出版
24	ペレのあたらしいふく	エルサ ベスコフ作・絵	福音館書店
25	まっくらネリノ	ヘルガー＝ガルラー	偕成社
26	まりーちゃんとひつじ	フランソワーズ	岩波書店
27	ライギョのきゅうしよく	阿部夏丸	講談社
28	ろくべえまってろよ	灰谷健次郎作 長新太絵	文研出版
29	ロボット・カミイ	吉田足日	福音館書店
30	わたしのおかあさんは世界一びじん	ベッキー ライア	大日本図書

2年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あのときすきになったよ	薫くみこ作 飯野和好絵	教育画劇
2	エルマーのぼうけん	ルース スタイルスガネット	福音館書店
3	おうさまでかけましよう	てらむらてらお作 わかやましずこ絵	フレーベル館
4	王さまライオンのケーキ	マシュー マケリゴット作・絵	徳間書店
5	おこだでませんように	くすのきしげのり作 石井聖岳絵	小学館
6	おいしいれのぼうけん	ふるたたるひ作 たばたせいいち絵	童心社
7	くまとやまねこ	湯本香樹実作 酒井駒子絵	河出書房新社
8	ごきげんなすてご	いとうひろし	徳間書店
9	さとうねずみのケーキ	ジーン・ジオン	アリス館
10	しっぽ!	竹下文子	学研教育出版
11	おすしのさかな		ひさかたチャイルド
12	ジローとぼく	大島妙子	偕成社
13	大砲のなかのアヒル	ジョイ コウレイ文 ロビン・ベルトン絵	平和のアトリエ
14	竹とぼくとおじいちゃん	星川ひろ子	ポプラ社
15	すみれちゃん	石井睦美	偕成社
16	おともださにナリマ小	たかどのほうこ	フレーベル館
17	でんでら竜がでてきたよ	おのりえん	理論社
18	どうぶつえんガイドよんでたのしい! いったのしい!	あべ弘士	福音館書店
19	トラのじゅうたんいなりたかったトラ	ジュラルド ローズ	岩波書店
20	どろんここぶた	アーノルド ローベル	文化出版局
21	なぜなぜのすきな女の子	松岡享子	学研
22	なんでもただ会社	ニコラ ド イルシング	日本標準
23	にじいろのさかな	マーカス・フィスター	講談社
24	歯いしゃのチュー先生	ウィリアム・スタイグ	評論社
25	花さき山	斎藤隆介	岩崎書店
26	ふしぎなたいこにほんむかしばなし	石井桃子文 清水崑絵	岩波書店
27	フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし	レオ＝レオニ	好学社
28	ベルナの目はななえさんの目	郡司ななえ	童心社
29	ロバのシルベスターとまほうのこいし	ウィリアム・スタイグ	評論社
30	わたしおてつだいねこ	竹下文子	金の星社

3年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま	イ ヨンギョン	福音館書店
2	アンナの赤いオーバー	ハリエット ジーフェルト文 アニタ ロベル絵	評論社
3	いたずらおばあさん	高樓方子	フレーベル館
4	いのちのカプセルまゆ	新開孝	ポプラ社
5	大きい1年生と小さな2年生	古田足日	偕成社
6	大どろぼうホッツエンプロッツ	プロイスラー	偕成社
7	おかあさんの木	大川悦生	ポプラ社
8	がんばれヘンリーくん	ベバリイ＝クリアリー	学研
9	かめきちのおまかせ自由研究	村上しいこ	岩崎書店
10	キツネのまいもん屋	富安陽子	新日本出版
11	きつねの窓	安房直子	ポプラ社
12	きつね森の山男	馬場のぼる	こぐま社
13	キャラメルの木	上条さなえ文 小泉るみ子絵	講談社
14	黒グルミのからのなかに	ミュリエル マンゴー文 カルメン セゴヴィア絵	西村書店
15	クワガタクワジ物語	中島みち	偕成社
16	こいぬがうまれるよ	ジョアンナ コール	福音館書店
17	しょうたとなつとう	星川ひろ子	ポプラ社
18	水曜日の本屋さん	シルヴィ ネーマン文 オリヴィエ タレック絵	光村教育図書
19	すみれ島	今西裕行文 松永禎郎絵	偕成社
20	サッカーがだいすき	マリベス・ボルツ	岩崎書店
21	大砲のなかのアヒル	ジョイ コウレイ文 ロビンバルトン絵	平和のアトリエ
22	つるばら村のパン屋さん	茂市久美子	講談社
23	としよかんライオン	ミシェル ヌードセン作 ケビン・ホークス絵	岩崎書店
24	とらとほしがき 韓国の昔話	パク ジェヒョン	光村教育図書
25	はれときどきぶた	矢玉四郎	岩崎書店
26	半日村	斎藤隆介文 滝平二郎絵	岩波書店
27	1つぶのおこめーさんすうのむかしばなしー	デミ	光村教育図書
28	つくろいものやはじめます	水沢いおり	偕成社
29	メアリー・スミス	アンドレアユーレン	光村教育図書
30	ルドルフとイッパイアッテナ	斎藤洋	講談社

4年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	いのちのカプセルまゆ	新開孝	ポプラ社
2	うぐいす	安房直子	小峰書店
3	うさぎ屋のひみつ	安房直子	岩崎書店
4	おじいちゃんがおばけになったわけ	キム フォックスオーカーソン文 エヴァ エリクソン絵	あすなる書房
5	オットー戦火をくぐったテディベアー	トミー ウンゲラー	評論社
6	かおるのたからもの	征矢清	あかね書房
7	かはたれ 散在ガ池の河童猫	朽木 祥	福音館書店
8	からだたんけんフリスル先生のマジック・スクールバス	ジョアンナ コール文 ブルース ディーギン絵	岩波書店
9	きつね、きつね、きつねがとおる	伊藤遊作 岡本順絵	ポプラ社
10	急行「北極号」	C. V. オールズバーク	あすなる書房
11	子犬のピピン	ローズマリ サトクリフ	岩波書店
12	子ぎつねヘレンがのこしたもの	竹田津	偕成社
13	ごんぎつね	新美南吉	講談社
14	しっぽをなくしたイルカ	岩貞るみ子	講談社
15	新幹線のたびーはやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断	ココヤスカン	講談社
16	すみれ島	今西裕行文 松永禎郎絵	偕成社
17	そんなわけで名探偵	杉山亮	偕成社
18	手ぶくろを買いに	新美南吉	フレーベル館
19	長くつ下のピッピ	アストリッド リンドグレーン	岩波書店
20	名前をつけるおばあさん	シンシア ライラントブラウン文 キャサリン ブラウン絵	新樹社
21	ひげねずみくんへ	アン ホワイトヘッド ナグダ	福音館書店
22	びりっかすの神さま	岡田淳	偕成社
23	ペニーの日記読んじゃだめ	ロビン クライン	偕成社
24	ホームランを打ったことのない君に	長谷川修平	理論社
25	まちゃんと	松谷みよ子作 司修絵	偕成社
26	みつばち	丘修三	くもん出版
27	犬をかうまえに	赤羽じゅんこ	文研出版
28	雪の写真家ベントレー	ジャクリーン Bマーティン作 メアリー アゼアリン絵	B L出版
29	ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤洋	講談社
30	わたしのいもうと	松谷みよ子	偕成社

5年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あたまにつまった石ころが	キャロル・オーティス・ハースト文 J.スティーブソン絵	光村教育図書
2	ありがとう、フォルカーせんせい	パトリシアポラッコ	岩崎書店
3	アンネの木	イレーヌ コーエン ジャンカ	くもん出版
4	お米は生きている（自然と人間）	富山和子	講談社
5	賢者の贈り物	オーヘンリ	講談社
6	さすらい猫ノアの伝説	重松清	講談社
7	鹿よおれの兄弟よ	神沢利子作 G.D.パヴリーシン絵	福音館書店
8	しずく的首飾り	ジョン・エイキン	岩波書店
9	杉原千畝物語—命のビザをありがとう—	杉原幸子	金の星社
10	世界の不思議な植物ワタシガイイチバン!	湯浅浩史	誠文堂新光社
11	大森林の少年	キャスリンラスキー作 ケビンホークス絵	あすなる書房
12	小さな町の風景	杉みきこ	偕成社
13	チビ竜と魔法の実（シノダ!）	富安陽子	偕成社
14	手塚治虫（子どもの伝記16）	国松俊英	ポプラ社
15	ぬくい山のきつね	最上一平	新日本出版
16	ハリスおばさんパリへ行く	ポール ギャリコ	ブッキング
17	樋口一葉—近代日本女性の職業作家—	真鍋和子	講談社
18	1つぶのおこめ—さんすうのむかしばなし—	デミ	光村教育図書
19	ヘレン＝ケラー自伝—三重苦の奇跡の人—	ヘレン＝ケラー	講談社
20	モモ	ミヒヤエル・エンデ	岩波書店
21	魔女の宅急便	角野栄子	福音館書店
22	マヤの一生	椋鳩十	大日本図書
23	椋鳩十のシカ物語（椋鳩十まるごと動物物語）	椋鳩十	理論社
24	エーミールと探偵たち	ケストナー	岩波書店
25	もしも日本人がみんな米つぶだったら	山口タオ文 津川シンスケ絵	講談社
26	ゆめみるトランク—北の町のかぼん屋さんの話—	安房直子	講談社
27	ローザ	ニッキ ジョバンニ文 B.コリアー絵	光村教育図書
28	ヴァン・ゴッホ・カフェ	シンシアライアント	偕成社
29	ヘンリー・ブラウンの誕生日	エレン・レヴァン	鈴木出版
30	晴れた日は図書館へいこう	緑川聖司	小峰書店

6年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	アラスカたんけんき	星野道夫	福音館書店
2	アンネ・フランカー絵本―	ジョゼフィーネ プール文 アンジェラバレット絵	あすなる書房
3	いわたくんちのおばあちゃん	天野夏美作 はまのゆか絵	主婦の友社
4	絵で読む広島原爆	那須正幹	福音館書店
5	おとうさんのちず	ユル シュルヴィツシュ	あすなる書房
6	カメをつつて考えた	阿部夏丸	旺文社
7	彼の手は語りつぐ	パトリシアポラッコ	あすなる書房
8	クロードアの秘密	E. L. カニグズバーグ	岩波書店
9	ゴエさん―大泥棒の長い約束―	結城乃香	朝日学生新聞社
10	小学5年生	重松清	文芸春秋
11	少年たちの夏	横山充男	ポプラ社
12	スウィート・メモリーズ	ナタリーキンシーワーノット	金の星社
13	鬼の橋	伊藤 遊	福音館書店
14	注文の多い料理店	宮澤賢治	岩崎書店
15	ガリレオ・ガリレイ―星の使者―	ピーター・シス	徳間書店
16	とどまることなく―奴隷解放につくした黒人女性ソジャーナ・トゥルース―	アン ロックウエル	国土社
17	トモ、ぼくは元気です	香坂直	講談社
18	夏の庭 ―The friends―	湯本香樹	徳間書店
19	西の魔女が死んだ	梨木香歩	小学館
20	二年間の休暇	J. ベルヌ	岩波書店
21	走れセナ!	香坂直	講談社
22	バスラの図書館員―イラクで本当にあった話―	ジヤネットウインター	晶文社
23	ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川義史	教育画劇
24	マサヒロ	田中文子	角放出版社
25	ミラクルファミリー	柏葉幸子	講談社
26	ムジナ探偵局	富安陽子	講談社
27	山のいのち	立松和平作 伊勢英子絵	ポプラ社
28	夕ごはんまでの五分間	プロハースコヴァ	偕成社
29	ローワンと魔法の地図	エミリー・ロッタ	あすなる書房
30	ぼくらのサイテーの夏	笹生陽子	講談社

☆読書は心の財産です。たくさん本を読みましょう!

2 学習への向かい方

みなさんにとって、学校生活の中で中心となるのは「授業」です。授業中は、次のことに注意して授業を受けましょう。

① 授業中の態度は

- 礼は、先言後礼です。
- 日直の合図で授業の始まりの挨拶をします。(前時の振り返り・今日のめあて)
- 先生の話や友達の発表を黙って考えながら最後まで聞きます。
- 正しい姿勢で学習をします。(グー・ペタ・ピン・サ)
- 授業に集中し、私語や勝手な行動に気を付けましょう。
- 終わりの挨拶もきちんとします。(今日の振り返り・次時の予告)

② 聞くときは

- 話をする人からだを向けて、目を見てうなずきながら聞きます。
- 笑顔で、終わりまでしっかり聞きます。
- 自分の考えと比べながら聞きます。

③ 読む・話すときは

- 指名されたら「はい」と返事をして立って話します。
- みんなに聞こえる声の大きさと話します。(声のものさし・3)
- はっきりとした丁寧な言葉づかいで話します。

④ ノートは

- 下敷を使いましょう。
- 「ホニ学のススメ」にある、ノートを書くときの約束を守り、学習のあとがわかるノートを作ります。
- 友達にも分かるように、丁寧に書きます。

⑤ 発言の仕方は

- 「はい ～です。」
- 「はい ～だと思えます。」 「はい ～だと考えます。」

◎ 友達の考えにつなげて話すとき

- 「〇〇さんと同じで～です。」
- 「〇〇さんと似ていて～です。」
- 「〇〇さんと少しちがって～です。」
- 「〇〇さんに付けくわえて～です。」
- 「〇〇さんに質問です。」

◎ 構成を考えて話すとき

- 「～だと思えます。わけは、～だからです。」
- 「～は、二つあります。一つは、～です。二つは、～です。」

◎ 表現を工夫して話すとき

- 「たとえば～」 「まとめると～」 「まず～、次に～、最後に～」

～授業に向けて準備しよう～

	観点の項目	低学年	中学年	高学年
授業前	授業前の準備	自分の席に座って、本を読んだり復習したり（教科書やノートを読む）して先生をまつ。		本を読んだり復習したり（教科書やノートを読む・ドリル学習）予習したり（国語辞典で意味を調べるなど）して先生をまつ。
		専科教室には、並んで静かに歩いて行く。		
授業中	①授業開始終了	チャイムの合図を守り、授業を開始する。 授業の開始・終了時には振り返りと丁寧なあいさつをする。		
	②いすの座り方	背筋を伸ばし、よい姿勢で、いすに座る。	姿勢に気を付け、音をたてないように立ったり座ったりする。	
	③ノートのとりかた	日付け・単元名を書く		
		授業時の指示通りに、鉛筆の持ち方に気を付け、丁寧に記入する。	記号、字の大きさ、書く位置を考えて記入する。自分の考え、友達の考えなど学習のあとがわかるノートづくりをめざす。	手際よく丁寧に、見出しを付けたり、板書以外の先生の話や自分の考えを書いたりし、工夫して記入する。
	④発表の仕方	ひじと指を伸ばして挙手をする。 名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立ち、3の声で発表する。		
	⑤話の聞き方	話す人の顔にからだをむけて目を見ながら最後まで聞く。	同じ(賛成)・違う(反対)など、自分の意見と比べながら聞く。	相手の意見を尊重しながら自分の意見と比べながら聞く。
⑥話し方	声の大きさに気を付けて、はっきりと話す。	相手や目的に応じ、筋道を立てて話す。	目的や意図に応じ、話の組み立てを工夫しながら話す。	
		適切な言葉遣いで話す。分からないことを質問する。		
授業後	授業後の片付け	教科書・ノートを机の中に入れ、次の授業の準備をする。 みんなが使ったものは、自主的に片付ける。		
家庭で	学習用具の準備	A4の手紙が入るファスナーつきの連絡袋に連絡帳を入れる。		
		お手紙を渡し、連絡帳を見せ、時間割を見て準備し、おうちの人に点検してもらおう。	お手紙を渡し、連絡帳を見せ、時間割を見て準備する。	お手紙を渡し、時間割や学習の計画に合わせ準備する。
	家庭学習 10分間×学年	楽しんで宿題に取り組む。	自分から進んで宿題や自主学習に取り組む。	

～学習用具～

項目 (場所)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ロッカー・フック	<p>○登校後すぐに教科書・ノートなどを右側の道具箱に入れる。 ○体育着、上履き入れは廊下のフックにかける。 ○上着はたたんで、ランドセルに入れる。入りきらない場合は、ロッカーの中。 ※ランドセルには防犯ブザー以外はつけない。</p>					
			<p>○辞書 ※辞書が入る位の（大きすぎない）手さげ袋に入れて机のフックにかける。</p>			
筆箱	<p>○原則、筆箱タイプ ※一度購入したものをなるべく長く使うようにする。 ※缶ペンケース型は使用しない。 ※道具箱に入らないような必要以上に大きい筆箱は、使用しない。</p>					
筆箱の中	<p>○鉛筆4～5本（Bか2B） ※シャープペンシルは、使用しない。 ※鉛筆は毎日家で削ってくる。</p>					
	<p>○消しゴム1個 ※かおりつき、色つきのは消えにくいので、使用しない。</p>					
	<p>○黒の油性ペン ・太字と細字があるもの。</p>					
	<p>○ミニ定規 ・15cm程度で、筆箱に入る透明なもの。 ※伸ばすと30cmになるタイプのは壊れやすいので使用しない。</p>					
	<p>○赤鉛筆・青鉛筆 各1本 ※カラーペンは原則使わないが、必要な場合は、担任の指示による。</p>					

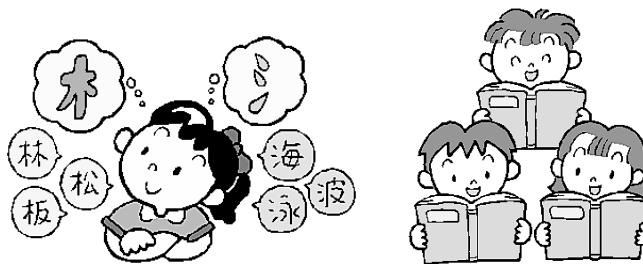
項目 (場所)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
専科袋			<p>○袋は巾着タイプで、キルティング布等厚地の布は不可。 ※サイズ 縦約30cm×横約20cm以内 (ひも部分除く) 以下の①～⑤が入るものであれば可。</p> <p>○専科袋に入れるもの ①小さいペンケース (2Bの鉛筆2本・消しゴム・黒の油性ペン) ②木工用ボンド ③はさみ ④液体のり ⑤色鉛筆12色セット</p> <p>※専科袋をお道具箱に入れて使用すれば、③液体のり、④はさみ、⑤色鉛筆を二重に用意する必要はない。(下記●印のもの) ※この専科袋は図工・音楽・理科・図書等で共有して使います。</p>			
左側の道具箱	●液体のり		※色、におい、きらきら付きではないものにする。 ※担任の指示により、他のものを使用する場合がある。			
	●はさみ		※手の大きさに合っているものに適宜変えていく。			
	●色鉛筆		・基本は12色。			
	○ステープラー					
	○セロハンテープ		・道具箱に入る大きさで、テープカッター付きのケースに入れる。			
	○自由帳		※学習ノートや連絡帳を忘れた時に使用する。 ※休み時間などのお絵かきにも使用する。			
	○クレパス 12～16色		※担任の指示により持参する場合もある。			
○折り紙		※20枚ほどをジッパー付きの袋に入れる。				
ノート	<p>○指定されたノートを使用する。 ○残りのページが少なくなったら新しいノートを早めに準備する。 ○使い終えたノートは、授業中に内容を見直すことがあるので、しばらくは持っておく。</p>					

項目 (場所)	教 科	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	
各 教 科 の 用 具	図 書	○図書バッグ ・手さげタイプ。 ・キルティング布など厚地の布は不可。 ・2～3冊入れられる大きさのもの。 ・雨の日用のビニール袋。						
	図 工	○絵の具セット						
	家 庭 科	/					○裁縫セット	
							○調理実習セット ・エプロン ・三角巾 ・マスク ・ふきん2枚	
	算 数	担任からの指示により持ってくる。	○三角定規（2枚組） ・算数の教科書と同じタイプのもの。			○コンパス ・鉛筆タイプのもの。 ※シャープペンタイプは不可。		
				○分度器 ・算数の教科書と同じタイプ。				
音 楽	○教科書 ○歌はともだち（歌集） ○鍵盤ハーモニカ		○音楽バッグ 手さげがついたもので、キルティング布等厚地の布は不可。 ※サイズ縦40cm程度（手さげ部分含む） ×横26cm 程度 ○音楽バッグに入れるもの ①教科書 ②歌はともだち（歌集） ③A4サイズファイル（楽譜プリントを入れる） ④リコーダー ⑤学年により副教材（例：リコーダー用楽譜等） ⑥専科袋 ※鍵盤ハーモニカについて 3年以上は、合奏で使う等、必要に応じて持ってくる。					

3 学習の内容

- 国語
- 社会
- 算数
- 生活科
- 理科
- 音楽
- 図画工作
- 家庭科
- 体育・保健
- 外国語・外国語活動
- 特別の教科 道徳
- 総合的な学習の時間
- 保健指導

国語



(1) 国語の大切さ

なぜ、国語の学習をするのか。

国語は、相手の言いたいことや伝えたいことを正確に理解し、そして自分の伝えたいことを正確に伝えるために学習します。漢字を練習するのも、ことわざを覚えるのも、文法を使うのも、伝えたいことを正確に理解し、正確に伝えるためにとっても大切なものなのです。

国語は主に、「話す」「聞く」「書く」「読む」という分野に分かれています。人は、「聞く」「読む」ということで知識や情報を得ることができます。また、他の人の考えを聞いたり読んだりすることにより、それをヒントにしてまた自分の考えを創り出していくこともできます。さらに、様々な言葉の意味や文の組み立てを理解すると、自分の気持ちや考えを「話し」たり「書い」たりするときに役立ちます。この言語感覚が充実すると、自分のものの見方・考え方の育成に役立ち、人と人とのコミュニケーションの成立や展開を円滑にしていくことにつながります。

国語の学習は、学習してもすぐに成果があらわれないこともあります。国語の学習はマラソンと同じで毎日少しずつ続けることが大切です。国語は全ての教科の土台です。国語をしっかりと身に付けることで、より豊かに生きていくことができます。

(2) 国語の学習方法

授業では・・・一度読んで、読めない言葉や意味の分からない言葉に線を引いて辞書で調べます。授業中は手を挙げてたくさん発表しましょう。あなたが発表すれば、その一人の考えに、反対したり賛成したりと、その考えがつながっていき、学習が広がったり、深まったりします。授業の終わりには、めあてに合わせて、その時間に分かったことなど、「振り返り」を書きましょう。

家庭学習では・・・

※漢字ドリルを使って丁寧に書く。

毎日丁寧に書くことによって正確に、着実に漢字が覚えられます。

※毎日音読をする。

文章を正確に読むことを繰り返すことによって、すらすらと漢字が読め、文章の内容を読み取る力が付いていきます。

※読書に親しむ。

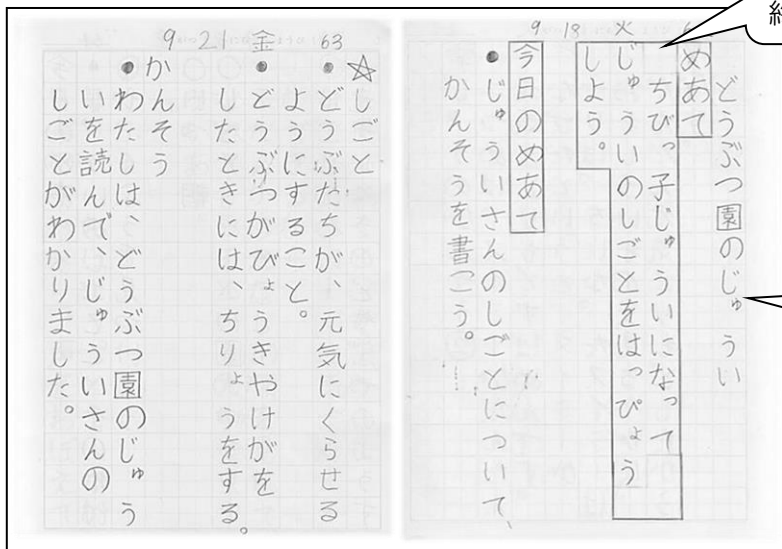
色々なジャンルの本を読むことによって語彙数が増え、自分とは違う人の見方・考え方を疑似体験できるよさがあります。

※1週間に1回日記を書く。

自然に文章力がアップします。また、以前の日記を読み返すことによって、客観的に自分を振り返ることができます。

(3) ノートの使い方

<低学年>



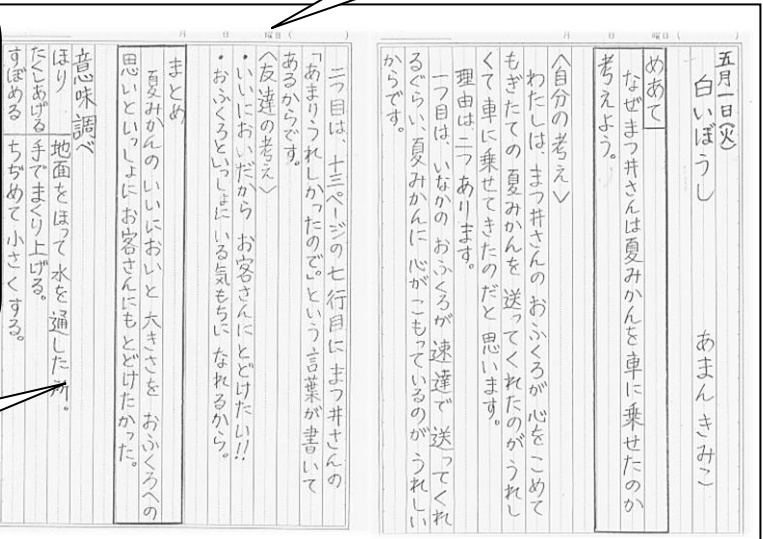
文の初めは1マス下げ、文の終わりには句点(。)を書きます。

マスを使って文字を正しく書くことを意識します。

友達の発表で「なるほど」と思ったことは青で付け足します。

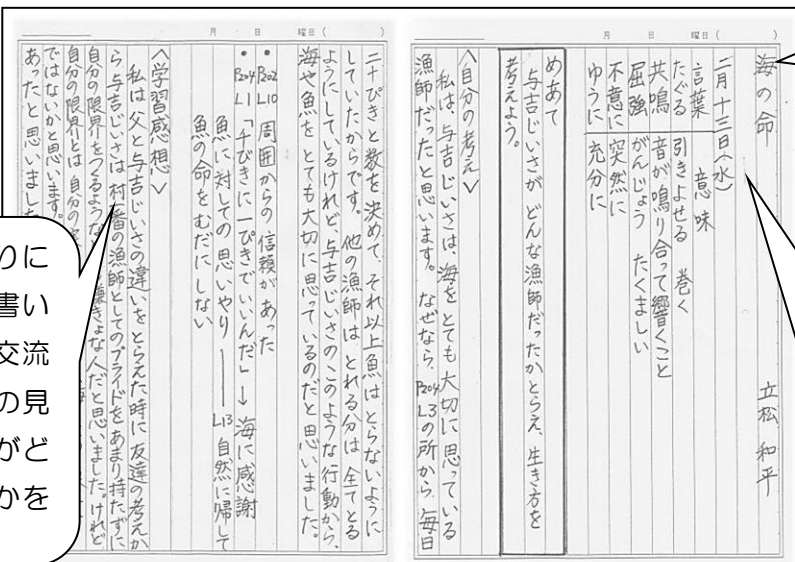
<中学年>

- ★どの学年にも共通の約束
- 日付・曜日を書きます。
- 「何を学ぶのか」を明確にするためめあてを書きます。
- めあては定規を使って赤で囲みます。
- 気付いたことをメモし、見方・考え方の跡が残るようにします。
- 習った漢字は必ず使います。



3年生以上は、分からない言葉は辞書で意味調べをします。

<高学年>



題名と作者を書きます。

学習の終わりに振り返りを書いて、友達と交流をして自分の見方・考え方がどう変わったかを書きます

行のノートでも、文字の中心をそろえて丁寧に見やすく書きます。まとまりごとに、一行あけて見やすくします。

社会



(1) 社会の大切さ

なぜ、社会の学習をするのか。

社会科の学習は、これからの時代を生きていく子供たちがよりよい社会を築いていくための基礎を学びます。私たちは「社会」の中で生きています。社会とのよりよいつながり方を学び、考えていくことはとても大切なことです。

社会の中では、たくさんの方が生活しているので、様々な問題が起こります。その問題をみんなでよい知恵を出し合ってよりよく解決していくことが、よりよい社会をつくることにつながります。特にこれからの時代は、グローバル化といわれるように、外国とのつながりがより深くなってきます。自分の国のことは勿論、他の国について知ることも大切になってくるでしょう。世界で起きている様々なことについて知り、よりよい国際社会のあり方を考え、問題を解決していこうとする力を身に付けることが、社会を学習する意味です。

社会科の学習は、多くの場合、問題解決的な学習が行われています。ある問題に対して自分なりに答えを予想し、様々な資料や方法を使って調べ、問題を解決し、まとめていく学習過程になっています。その中で、自分一人で調べて考えるだけでなく、みんなで調べて考えを出し合っていく学習（主体的・対話的で深い学び）を行います。こうした学習を積み重ねていくことで、多様な見方や考え方ができるようになっていきます。

教室での学習に加えて、校外学習や体験的な学習などを進めていくことで、子供自身が社会の仕組みや社会の中で生きる人々の工夫や努力のおもしろさを実感してほしいです。

(2) 社会の学習方法

授業では・・・学習の流れ【つかむ ⇒ 調べる ⇒ まとめる ⇒ 活用する】

- ① つかむ・・・学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。
- ② 調べる・・・予想を立てて、様々な資料や方法を使って調べる。
- ③ まとめる・・・調べた結果を整理して、表現する。
- ④ 活用する・・・学習内容を実践に生かす。

家庭学習では・・・

社会科では、「？」が大切です。生活の中から、たくさん「どうして〇〇なのか？」を探したり、確かめたりすると社会科の学習につながります。また、高学年であれば、新聞記事を読んでも社会の仕組みを知る上でよいと思います。その他、社会科＝暗記教科ではありませんが、基礎的・基本的な知識を覚えることは日常で取り組みやすいです。地図帳や年表を見る機会を増やすなど、学年に応じて基礎的・基本的な知識を増やしていきましょう。

【例】

3・4年生 「方位や主な地図記号」「47都道府県の名前と位置」

5年生 「世界の主な大陸と海洋」「主な国の名前と位置」「我が国の市と領土」

6年生 「歴史上の主な発明品」「国名・主要文化財」「我が国の世界遺産」など

(3) ノートの使い方

学習問題

(単元で学習すること)

学習問題

武士が力をつけていき、世の中はどのように変わったのだろうか。

その授業の学習のめあてを書きます。

学習した日付をノートのマスの中に書きます。

6月21日(水)

めあて
武士はどのようにして、力をのびていったのか調べよう。

朝廷や貴族の勢力争い

源氏

源平の戦い

平氏

源頼朝・義経

平清盛

東日本で力をもち、西日本で力をもち

学習で調べたことをかじょう書きで書いていきます。

頼朝
伊豆へ流される

1156年 保元の乱 (勝)

太政大臣

1159年 平治の乱 (勝)

貴族の政治を行う

兄弟合流!

21年後

1180年 石橋山の戦い

宋(中国)との貿易。神戸港を作る

1183年 くりから峠の戦い

1184年 一ノ谷の戦い

1185年 屋島の戦い

壇ノ浦の戦い

あしひこ(頼朝)
兄は...

ほろびる

源氏

VS

平氏

まとめ
武士は、貴族の政治に影響力をもち、力をのびた。特に力をもちた源氏が平氏をほろぼした。

予想を書くときは、今まで習ったことや自分の生活の経験をもとに書きます。
「～だろう」「なぜなら～から」のかじょう書きで書きます。

学習に使った資料をはっておきます。

まとめは、調べたことや学習して分かったことを書きます。学習感想を書くときは、思ったことや疑問、調べてみたいことなどを書きます。そのときに、どうしてそう思ったのか、理由をしっかりと書けるとよいです。

<知識の記録>

基礎的・基本的な知識は何度も見直して覚えましょう。

4月18日(金) P8~P9
まちを見わたそう

めあて
方いじしんのつかいかたをしるう。

方位…東西南北のもこと。

方位じしん…色のついたはりのこと
す方こうか北

地図には、ふつう北を上にしてつくられる

4月22日(火)

めあて
地図記号についてしるう。

田…神社
文…学校
㊦…ゆうびんきょく
甲…ひょういん
モ…寺
X…交番
Y…しょうぼうしょ
〇…区やくしょ
III…JR
□…そのほかのてっ道
⚙…工場
📖…図書館
🏠…はくぶつかん
👴…老人ホーム
◎…市やくしょ
∨…畑
〃…田
🌳…かじゅん
🔌…はつでんしょ

<資料からの読み取りの記録>

4月30日(水)

めあて
けいさつおんの仕事についてしりょうを元に調べよう。

・ふだんはおとしものをあずかたり、道をあんないしたりしている。

・自分がたんとする地いさのイ人ぐらしのお保よりの家をほうもんしたりする。

交流
・悪い人(不しん者)をつかまえる。

・小学生の交通安全教育の宛し。

・パトロールをしている。

・事件があったとき、しょうご集めをする。

・おしもの時にそなえこ、くんれんをする。(けいさつ犬)

・時々外国人に道をあんないをしたりする。

資料をよく見て読み取り、友達が気が付いたことを付け足し、交流しましょう。

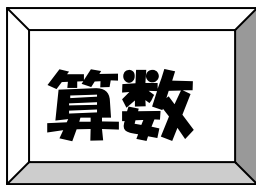
<自分の見方・考え方の記録>

まとめ

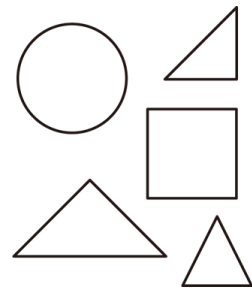
私たちが情報を生かしていくためにはどんなことに気を付けていけばよいか。

わたしは、インターネットでは、必要な情報かを区別し、まちがった情報を使わないようにすればいいと思う。もしも、自分から情報を流す時は、自分や友達の個人情報~~を流さないようにする。~~新聞でも、~~どのような事を言っているか~~確かめる。 1/21

学習したことを生かして自分の考えを記録し、発表しましょう。



1 2 3 4 5
6 7 8 9 10



(1) 算数の大切さ

なぜ、算数の学習をするのか。

算数は、日常生活で多くの場面で活用しています。買い物をするときにおよその代金を計算したり、毎日のように目にする時計を見て一日の予定を立てたりします。また、友達と同じ数ずつお菓子を分けるときなど、算数の学習は数多くの場面で役立ちます。それ以外にも、子供たちが成長し大人になっていく過程でとても大切な力を育てていく教科です。

授業の中で、ただ、答えを出すだけでなく、なぜ、その答えになるのか、今までに学習した事をもとにして統合的に考えていきます。そうすることで問題解決に向けて、論理的に自分の考えをまとめていく力が育っていきます。日常生活において算数的な場面だけでなく、何かの問題に出会ったときにどうすればよいのか、発展的に自分の考えを構築していく力にもつながっていきます。

また、授業では、多様な友達の考えを聞くことも大切です。同じ答えなのにいろいろな考え方があることを知ることで、算数のおもしろさ、数学的な見方・考え方を養っていきます。

算数の学習では、「やってみたい!」「解いてみたい!」という気持ちを高め、「できた!」「わかった!」という算数の楽しさを実感できる子供たちを育てます。

(2) 算数の学習方法

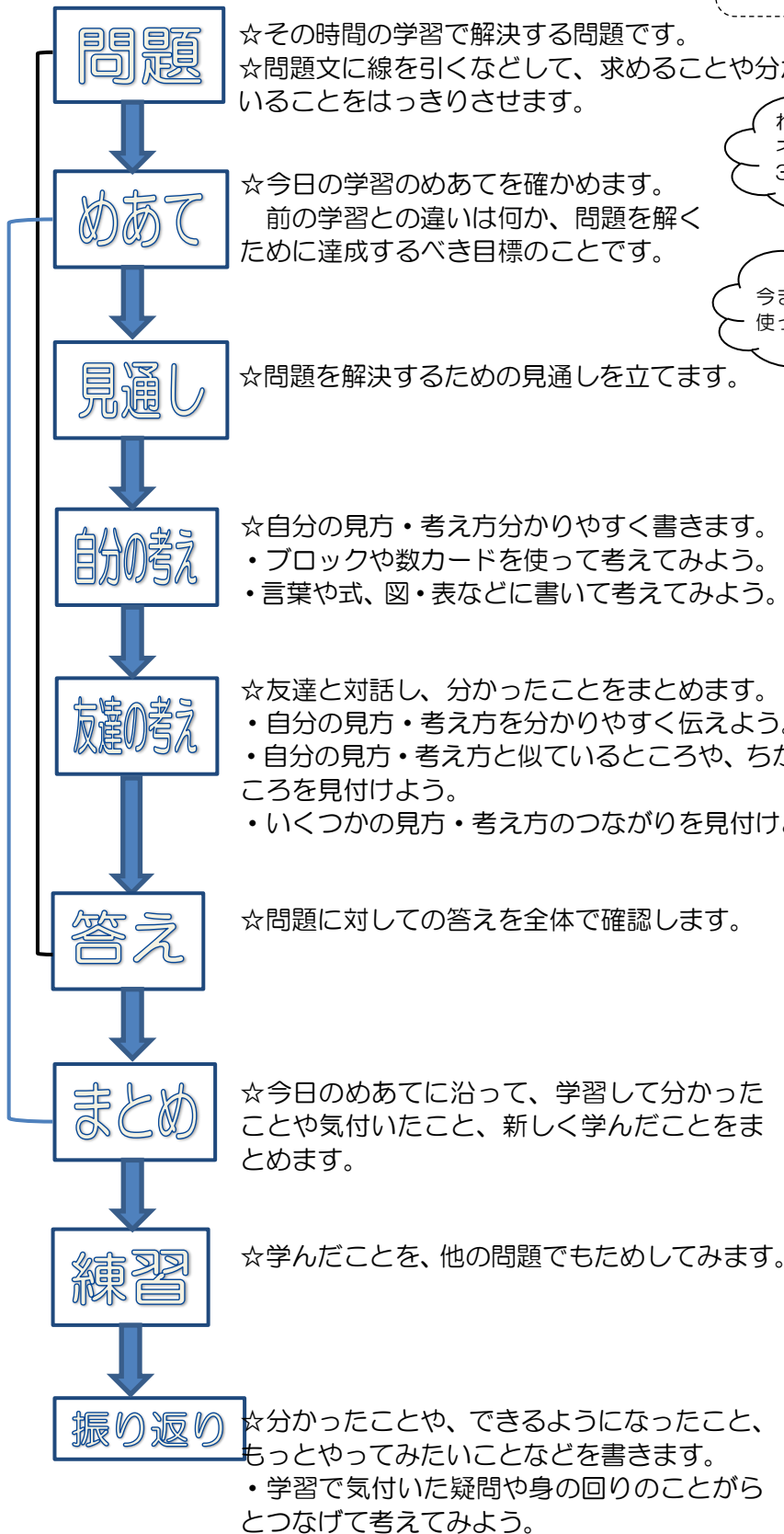
授業では・・・

問題を解決するために、自分の考えを文章で書いたり、式や図、絵、グラフなどでわかりやすく表したりします。答えは同じになっても、様々な見方・考え方をすることで算数の楽しさを見付けていきましょう。また、基礎的・基本的内容の定着、学力向上に向けて、3年生から6年生までは少人数での学習指導を行っています。個々の学習進度に合わせて学習課題に取り組んでいきます。つまずきがある場合は、関係のある学習内容まで戻り、着実に学力を高めてくようにしましょう。

家庭学習では・・・

計算ドリルを中心とした宿題を出します。宿題の丸つけをしたら、間違えたところは、その日のうちに直すことが大切です。つまずきを感じた時は、関係のある学習内容まで戻って、繰り返し学習することが必要になってきます。例えば、九九でのつまずきがある場合は、第2学年の学習である九九の反復練習をしていきます。

(3) 1時間の学習のすすめ方



20円のラムネと30円のキャラメルを買います・・・



わかっていることは、ラムネが20円でキャラメルが30円。求めることは...

今までに学んだことを使って考えると...



☆ポイント☆
今までに習ったことともつなげて考えよう！

〇〇さんの見方・考え方と私の見方・考え方の、似ているところは・・・



今までとは少しちがう問題だったけれど、前に習ったことと同じようにすればできることがわかった！



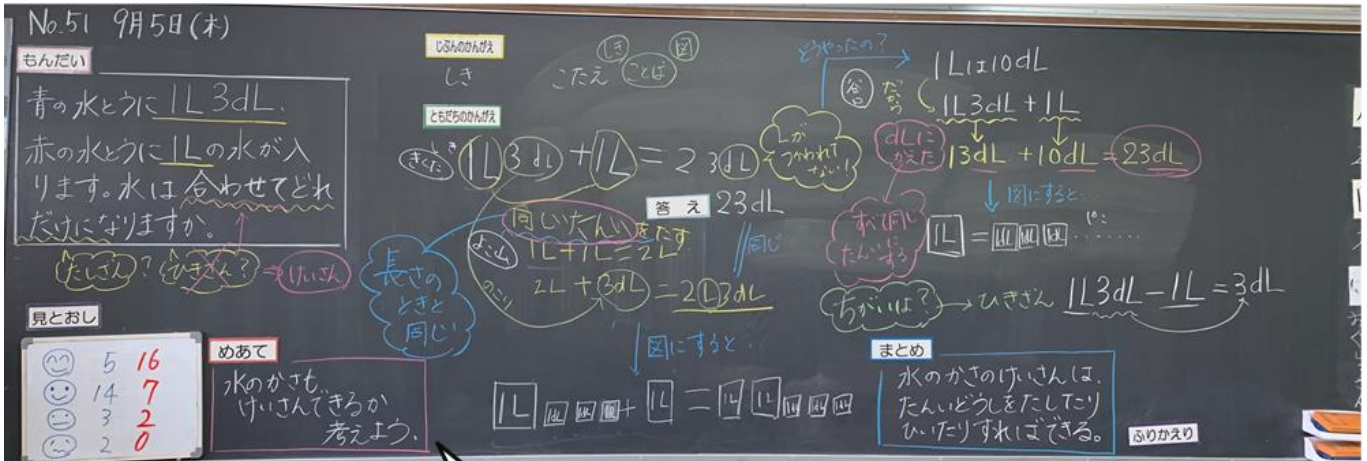
(4) 学習内容

①低学年

操作活動を通して

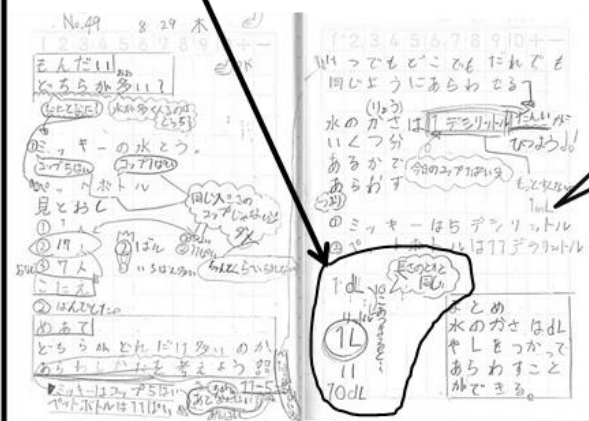
数学的な見方・考え方を身に付ける子

ブロックや数カードなどの、具体物や半具体物を操作する活動に重きを置いた授業を繰り返し行うことで数や図形に関する感覚を磨く。



実際に操作することで数量の感覚を磨きます。

今までに学習した内容とつなげて統合的に捉えます。

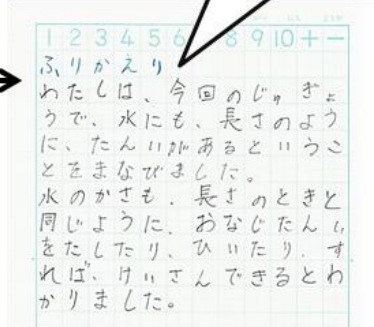


操作した結果はノートにしっかり記します。

本時に学んだこと、気が付いたこと、もっと知りたいことなどを振り返りに書きます。



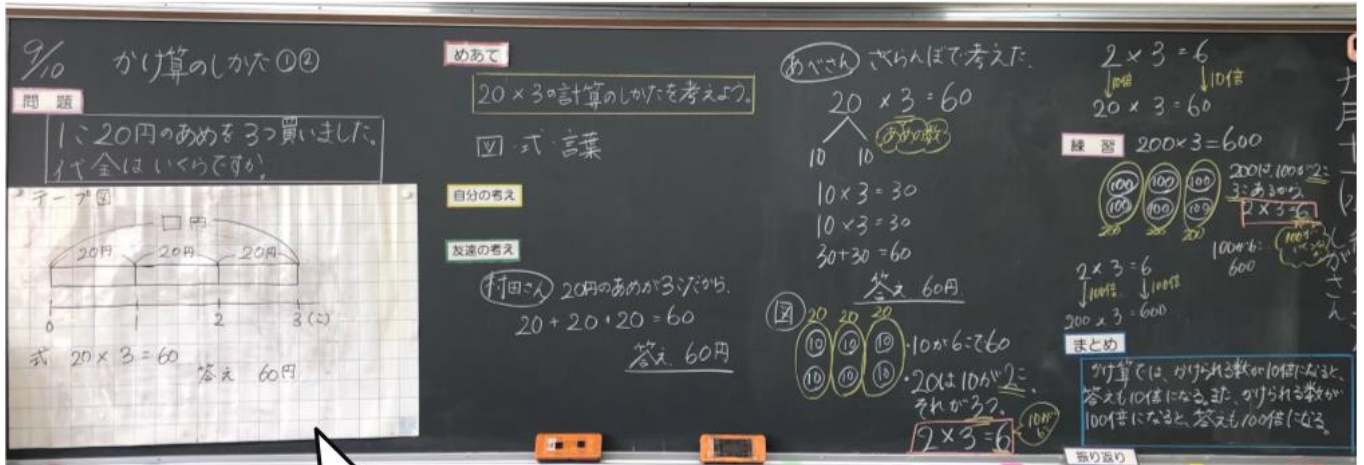
授業時間だけではなく、日常と関連付けて、発展的に学習内容を捉えます。



②中学年

数学的な見方・考え方を表現できる子

数量関係に着目して、図や表に表す活動に重きを置いた授業を繰り返し行うことで、数量関係を式や図・表・グラフを用いて簡潔に表したり、式と図・表・グラフを関連付けて式を読んだりすることができるようにする。



式と関連付けて、どうしてそうなるのかを図で表します。

今まで学習してきた筆算も「(位を)分けて、計算して、たす」と計算できると統合的に考えることに気が付きます。

自分の考えを公表するとき、図と式を関連付けながら考えて理解を深めていきます。

かけられる数の桁数が増えてもできるそうだと、発展的に考えています。

③高学年

統合的・発展的に考えることができる子
根拠を基に説明できる子

「統合的」とは、異なる複数の事柄に共通点を見出すことで、一つものとして捉え直すこと。
「発展的」とは、物事を確定的なものと考えず、絶えず考察の範囲を広げていくことで、新しい知識や理解を得ようとするものである。

「根拠を基に説明」とは、自分の見方・考え方を式や図・表・グラフを使って筋道を立てて説明すること。

9月25日(水)

問題 3人の速さの順番を調べましょう。

Aさん	40m	同8秒
Bさん	40m	9秒
Cさん	50m	9秒

めあて 速さを比べる方法を考えよう。

見出し 1あたりで比べる

自分の考え
1秒間に何m進めるか
A $40 \div 8 = 5$ (m)
B $40 \div 9 = 4.44$ (m)
C $50 \div 9 = 5.55$ (m)
きょりが長い方が速い
C → A → B
1秒あたりのきょり
↓
単位量あたりの考え

友達の考え
1mあたり何秒かかるか
A $8 \div 40 = 0.2$ (秒)
B $9 \div 40 = 0.225$ (秒)
C $9 \div 50 = 0.18$ (秒)
時間が短い方が速い
C → A → B
1mあたりの時間
↓
答え C → A → B

まとめ 速さを比べるときには、単位量あたりの考えを使って比べる方法が便利。

練習
A $35 \div 5 = 7$ (m)
B $16 \div 2 = 8$ (m)
Bの方が長いきょり進む。
答え Bの店

振り返り

子供の中から出てきた課題意識から、距離も時間も違うAさんとCさんも比べられるように見直しをもちます。

子供の見方・考え方の中から共通することを見つけ、既習事項と統合的に考えます。

「何を求めるのか」「なぜ速いと言えるのか」を、式を基にして説明します。

9月25日(水)

問題 3人の速さの順番を調べましょう。

Aさん	40m	8秒
Bさん	40m	9秒
Cさん	50m	9秒

めあて 速さを比べる方法を考えよう。

自分の考え
1秒あたりに何m進んだか
A $40 \div 8 = 5$ 5m
B $40 \div 9 = 4.44$ 約4.4m
C $50 \div 9 = 5.55$ 約5.6m
1秒あたりに進むきょりが長い方が速い
C → A → B

友達Aの考え
1mあたり何秒かかるか
A $8 \div 40 = 0.2$ 0.2秒
B $9 \div 40 = 0.225$ 0.225秒
C $9 \div 50 = 0.18$ 0.18秒
時間が短い方が速い
C → A → B
求め方は2つある
1秒あたりのきょり
↓
1mあたりにかかる時間
↓
単位量あたりの考え
1あたり

まとめ
きょりも時間もちがう3人を比べるときには、単位量あたりの考えを使えば求められる。

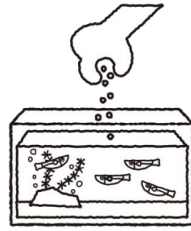
振り返り

最初は、きょりが同じAさんとBさん、時間が同じBさんとCさんは比べられると思いましたが、きょりも時間もちがう時には、1あたり(単位量あたり)を求めればいけると分かりました。前に単位量の学習をした時にも、1あたりを求めて比べていたのど、その考えが速さにも使えると思いました。
新幹線などの速い乗り物の1秒あたりに進むきょりを調べて、比べてみたいと思いました。

既習の「単位量あたりの大きさ」と「速さ」の繋がりを統合的な見方・考え方でまとめています。

日常生活と結び付ける発展的な見方・考え方でまとめています。

生活科



(1) 生活科の大切さ

なぜ、生活科を学習するのか。

小学校低学年の特徴は、発達上、具体的な活動を通して思考する段階にあります。そのため、身近な自然を観察し、季節の移り変わりを感じたり、身の周りにあるものを使って遊びを工夫したり、動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらは生命をもっていること、成長しているということを知ったりと、実際に見たり、聞いたり、触ったり、様々な体験や経験をすることを重視しているのです。

学習の中では、具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けたり、自分の生活について考え、表現したり、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしようとする態度を養ったりします。

また、幼児教育から小学校教育への移行を円滑にするための教科として大きな役割を担っています。保育園や幼稚園から小学校に上がると、国語や算数などの「学習」が始まり、それまでの遊びを通じた総合的な学びとはがらりと変わります。そこで、生活科はそのギャップを少しでも和らげ、学ぶ楽しさや、そこで学習したことを次の学習や生活に生かそうとする意欲や態度を育むための教科でもあるのです。

生活科では、具体的な体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力の育成を目指すことを目標としています。

(2) 生活科の学習方法

授業では・・・

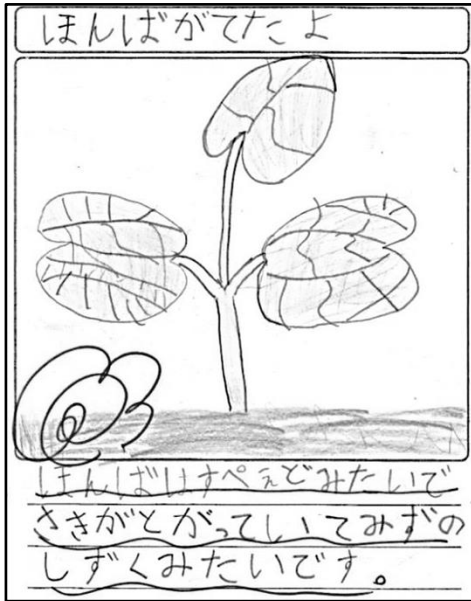
学校探検やまち探検を通して自分が生活している場所や住んでいる地域について知り、そこで生活している人々と関わりをもったり、自然の中で遊ぶ体験を通して季節を感じたり、植物を自分の手で育て、成長していく喜びを知ったり、生き物とふれ合う活動を通して命の大切さを感じたりと、直接体験的な活動を重視しています。1・2年生合同での異学年交流も積極的に取り入れています。そして、観察カードを書いたり、感じたことや気付いたことを交流したり、育てた植物を使って作品を作ったりと、体験しただけで終わりにならないよう、振り返りの時間も大切にしています。

家庭学習では・・・

- ① 規則正しく生活する。(早寝、早起き、朝ごはん)
- ② 基本的な生活習慣や技能を身に付ける。
- ③ 家族と一緒にやってみたいこと(遊びや運動)を行う。
- ④ 家族の一員としての仕事を行う。
- ⑤ 自分の成長について、家族に聞いて知る。
- ⑥ 動物を飼育したり、植物を育てたりする。

<観察カードの紹介>

(1年生)



(2年生)



<体験活動の様子>

(1年生)



1学期にはアサガオの種をまき、芽が出て成長していく様子を観察します。



季節に応じた遊びを考え、自然物を使ったり、体を動かしたりしながら季節を感じることをできるように活動を四季を通じて行います。



かるたやおはじきなどの伝承遊びを競ったり、ルールを工夫したりしながら楽しみます。

(2年生)



まち探検では、公園や公共施設を探検し、町の素敵なおとこを再発見し、町で働く人々の様子を知ります。



5月頃に矢ヶ崎農園でさつまいもの苗植えをします。12月頃に収穫します。

理科



(1) 理科の大切さ

なぜ、理科の学習をするのか。

私たちの身の回りには、たくさんの**自然の事物や現象**があり、それは不思議でかけがえないものです。また、私たちの生活を豊かにするために**科学の力**は欠かせないものです。自然界の規則や法則を理解して身の回りの事物や現象を見ると見えない事実が認識できたり、将来の変化を予測することができたりするのです。(台風情報、水の災害、省エネ環境問題)

理科で大切なのは、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物、現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することです。そのためには、自然に親しみ、その偉大さや美しさを感じ、「なぜ……だろう？」という疑問をもつことが大切です。さらに、今までの知識や経験から自分で予想をたて、考え、実際に自分で実験や観察をすることで、自然界の規則や法則〈違いや共通点〉を見付けだすことです。それは、根拠ある自らの判断や思考で問題解決していく力を育てることにもつながります。

一人一人が、理科の学習で自然の事物や現象に興味を持ち、見通しを持って実験や体験を行い、理科の見方・考え方、知識や論理的な思考力を身に付けてほしいと思います。

(2) 理科の学習方法

・授業では、課題に対して自分で考えて、問題解決ができるようにしましょう。

＜授業の流れ＞

- ①課題をつかむ。
- ②疑問をもつ。(なぜ……だろう?)
- ③問題を解決するための方法を考える。(どんな実験、観察をするといいか考える)
- ④予想、自分なりの考えをもつ。(今までの学習や経験、知識・技能を総動員させて考える。)
- ⑤実験、観察をする。(比べる、関係付ける、推論する)
- ⑥実験・観察結果を整理してまとめる。

授業では、課題に対して自分で考えて、問題解決ができるようにしましょう。

・家庭学習では、授業で学習したことを発展させて実験したり、時間をかけて観察したりしましょう。

*身の回りの自然や生き物の様子を観察する。

(公園や野原の植物、生き物、空、雲、太陽、空気、水)

*理科の授業で行った実験を家で発展させてやってみる。

(例：家の中の磁石にくっつく物はどれだろう。 昆虫を育ててみよう。等)

*休みの日に、博物館や科学館に行く。

(3) ノートの使い方

《観察カードをかくときには》

日付、曜日、天気、温度を必ず書きます。

観察するものを書きます。

.....

メダカのオスとメス

.....

6月18日(月) **かんさつきろく**

天気 (くもり) 気温 (24)℃ 名前 (保谷 二郎)

数を数えたり測ったりしたものは、正しく記録することが大切です。次に観察した時に、比べてみると分かることがたくさんあります。

絵はよく見てかくことが大切です。植物なら、花や葉の形、花や葉のつき方などをよく見てかきます。よく見て、正確にかくことが大切です。

体の長さ = 2cm5mm オレンジ色 完全に泳ぐ

オス せびれがギザギザしている。 切れこみが入っている

しりびれが後ろの方まで長くなっている。
長方形、平後四辺形

メス せびれがギザギザしていない。

しりびれが後ろの方にいくにつれて短くなる。
三角形

続けて観察していくと、季節が変わり、気温が変わったこと、植物の成長や、虫の成長、見られる植物や虫のちがいがよく分かります。

友達がよいことを書いていたり、自分が気付かなかったことを書いていたら、青で書き足しておきましょう。

花や葉の数や大きさ、全体の高さなどを測ったり数えたりして書いておきます。数を数えられるもの、定規などで測れるものは、数や長さ、重さなどを必ず記録しておきましょう。

《ノートをかくときには》

日付、曜日、天気、
気温を書きます。

授業の『課題』（めあて）を
書き、赤で囲みます。

『予想』を書くときには、これまでに勉強した
こと、見たことがあること、やったことがある
こと、聞いたことがあることなどを使って考え
ましょう。『前に××したときに～だったから』
『〇〇の実験で～という結果だったから△△だ
と思う』など、自分の考えの根拠（もとなる
経験や事実）を必ず書くようにしましょう。

11月7日（水） 晴れ 20℃

課題 とけるとはどういうこと

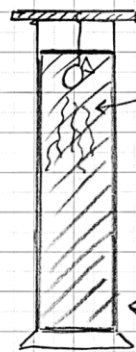
予想 紅茶にさとうを入れた時に
まぜたらさとうが見えなくな
りました。入れたものが見え
なくなるのが、とける
ということだと思います。

友だちの考え

すきとおること。
とう明になること。

実験 1

実験 2



シュリーレン現象 という

もやもやしている
とけているのが見える。
まぜなくてもとけるのにビツ
クリした。

← 下の方にはもやもやが見えない。

まとめ

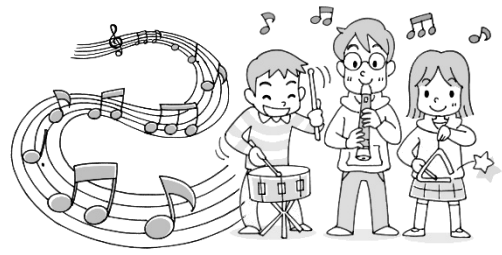
無色とう明
赤と青のこなはとう明になって
つぶもなくなつたのでとけた。
緑のこなはつぶはなくなつたけ
れど、色が茶色になった。でもと
けたのではなかつた。
有色とう明
黄色はこなはずんできたので
とけていない。つぶがないとう明に
なる

グループの話し合いや、全体で出され
た友達の意見で、大切だと思ったこと
は青で書き加えておきます。先生の説明
も同じように青を使ってメモができ
るとよいです。黒板に書かれたことを
書き写すことは基本ですが、学習で分
かったこと、考えたことも書き加えま
しょう。

『実験・観察の記
録』は、絵を使っ
てかいておくと、
分かりやすくなり
ます。色が大切
になることが多
いです。授業の時、
色鉛筆は必ず
準備します。

『まとめ』は『課題』（めあて）に立
ち返って考えて書きます。算数に当て
はめると、『課題』は問題、『ま
とめ』は答えにあたります。必ず授業
の『課題』にもどって実験結果や観察
したことをまとめましょう。
全体でまとめたときに、自分の『ま
とめ』に足りなかったことは必ず書き加
えておきましょう。『まとめ』は青で
囲みます。

音楽



(1) 音楽の大切さ

なぜ、音楽の学習をするのか。

生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質や能力を育て、さらには生涯にわたり音楽文化に親しみ、心豊かな生活を営むことのできる人を目指すのが音楽の学習です。

〈音楽で目指す資質・能力の3つの柱〉

- ① **知識及び技能**：曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解し、音楽表現を楽しむために必要な技能（歌唱・器楽・音楽づくり）を身に付ける。
- ② **思考力・判断力・表現力**：音楽表現に対する思いや意図をもち、よさを見いだして音楽を味わって聴く。
- ③ **学びに向かう力、人間性等**：主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

(2) 音楽の学習方法

授業では・・・

音楽的な見方・考え方を働かせて、表現（歌唱・器楽）・鑑賞・音楽づくりの各分野に関連性をもたせながら、学習に取り組んでいきます。それらの活動に必要な基礎的な技能や音楽に対する感性は、主体的・対話的で深い学びの中で行う常時活動や友達と協働して行う活動を通して高めていきます。

＊教育環境として大切にしていること＊

- ①お互いの声、音、音楽をよく聴き合うために、よい耳を育てる静かな「間」を意識する。
- ②音楽の要素（リズム・拍・音程）や形式、曲想等を理解する上では、楽曲の中で拍に合わせて身体を動かし歌う等、音楽的な感覚を働かせることを通して知的な理解へとつなげる。
- ③友達と関わり合い、心・声・音を合わせ、互いに協働した活動の場面の設定を行う。

家庭学習では・・・

○おうちの方と一緒に音楽を楽しみましょう。

音楽が好きというおうちの方の子供は、だいたい音楽が好きになります。お子さんと一緒に歌ったり演奏したりすること、コンサートに足を運ぶこと等もよい経験となります。

どうぞいろいろな方法で音楽を楽しんでみてください。

図画工作



(1) 図画工作の大切さ

なぜ、図画工作を学習するのか。

図画工作科の表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

〈教科の目標〉

- ① **知識及び技能** 対象や事象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- ② **思考力・判断力・表現力** 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ③ **学びに向かう力、人間性等** つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

(2) 図画工作の学習方法

授業では・・・

- ① 児童が自分の感覚や行為を大切にしたい学習活動を行うことで、一人一人の理解を深め「知識」の習得につなげます。また、自分の思いを生かした造形活動を楽しむ過程を通して、「技能」を育成することが重要であると考えています。
- ② 「表現」を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、児童が興味関心をもてるような題材の設定や、新たな材料、道具との出会いを大切にします。「鑑賞」を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、作品をつくったり見たりするとき、自分の見方や感じ方を大切にするとともに、他者との対話を通して、様々な見方や感じ方があることを味わい、考えを深めていきます。
- ③ 児童が作品にこめた思いや願いに教師が気付いたり、表現のよさに一緒に感動したりすることで、つくりだす喜びを味わう時間や場面を大切にしていきます。

家庭学習では・・・

○日常生活の中にも色や形がいっぱい！

身の回りは色や形であらわれています。例えば、景色を見て、自然の美しさに感動する、自分に似合う服や靴、帽子などを選んで、コーディネートするなどのように日常生活のいろいろなことが図画工作とつながっています。

○材料は発想力の宝物

図画工作の授業では、材料や道具の準備がとても大切です。普段から、空き箱や発泡トレーなど身近な材料をどのように使うか考えることで、発想力や創造力を身に付けることができます。

○美術館に行こう！

多くの美術作品を鑑賞することで、そのよさや美しさを味わい、自分の見方や感じ方を深めることができます。

家庭科



(1) 家庭科の大切さ

なぜ、家庭科の学習をするのか。

家庭科では、家族や家庭生活、衣（快適な衣服の着方）・食（栄養バランスのよい食事）・住（快適な住まい）、消費や環境について学習します。基礎的な知識を学びながら、家族の一員として家庭生活を送ることの大切さを学習します。また、裁縫や調理といった技術を身に付け、将来子供が自立した時に、健康で幸せな家庭生活を送ることができるようにします。

(2) 家庭科の学習方法

授業では…ファイルやノートにしっかり記録しましょう。

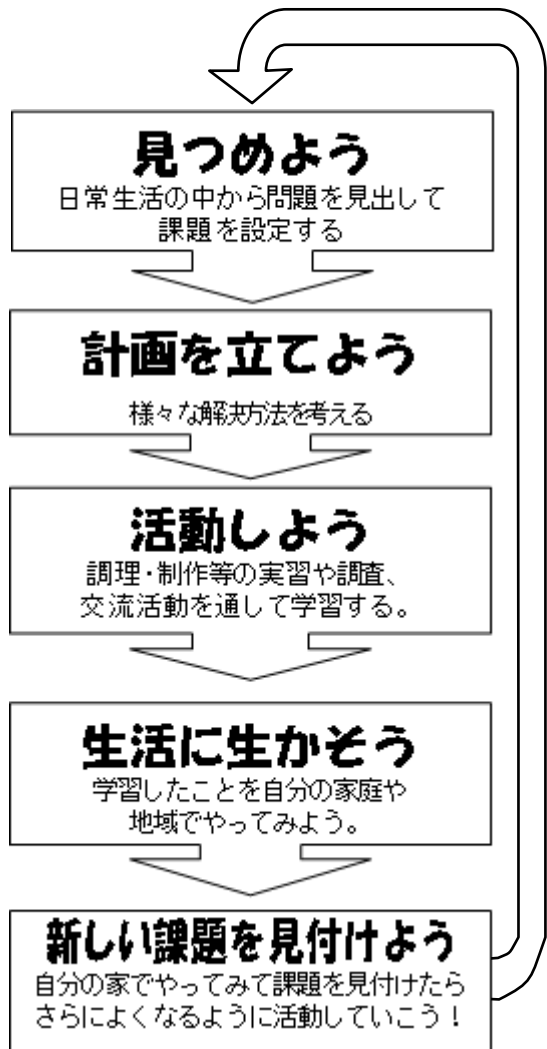
- ① これまでの生活を振り返って、よさや問題点を互いに出し合う。（経験の共有化）
*生活経験の個人差があるので、みんなで情報を出し合い、課題を設定します。
- ② よりよい生活が送れるように、改善や向上を目指し計画を立てる。
*みんなで話し合い、協力し合って活動できるように調理計画や制作計画、調べ学習・実験計画を立てます。
- ③ 計画にそって協力して活動を行う。
*うまくいかないところは、互いに教え合ったり助け合ったりしながら活動します。

家庭学習では…

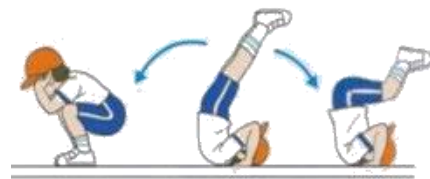
- ① 学習したことを家庭で実践する。
*せっかくできるようになったことは、どんどん活用します。家でやればやるほどに上達します。
- ② 新しい課題を見付ける。
*生活をよりよくするために課題を見付けて、さらに工夫しましょう。

お家の方へ…

家庭科では、学校で習ったことを、それぞれの家庭で実践することが大切です。時間がかかりながらも、未熟ながらも、家庭の仕事を行い、「ありがとう」と認めてもらうことで、家族の一員としての自覚が育ち、将来的に、家族を支える責任感のある人間へと育ちます。ぜひ、学習内容を確認し、日々の生活の中で子供たちが「生活の工夫」を体験したり、気付いたりできるように、機会を作り、言葉で説明してあげましょう。



体育・保健



(1) 体育・保健の大切さ

なぜ、体育・保健の学習をするのか。

小学校、中学校及び高等学校を通じて、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指しています。そのために、体育の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習をしていきます。

(2) 体育・保健の学習方法

授業では、体育の見方・考え方を働かせるために、自分の能力に合った「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を見い出していきます。

① する

- ・楽しんで身体を動かす。
- ・自分の能力や適性、興味関心などに合った練習の場や用具を選んで運動する。
- ・自分や友達、チームで見付けた課題を解決するために自ら考えたり工夫したりする。

② みる

- ・友達や大会に出場する選手の良い動きを見て、運動のポイントやコツを見付ける。
- ・自分の動きを見て、良い動きにつなげる課題を見付ける。
- ・運動を安全に行えているか、ルールを守っているかを見る。

③ 支える

- ・安全面に気を付け、協力し合いながら用具の準備や片付けを行う。
- ・自分や友達、チームの課題を解決するための方法を話し合う。
- ・同じ学級、チームで協力し合えるように声掛け（応援やアドバイス）をする。

④ 知る

- ・運動の楽しさや喜びを知り、そこで解決すべき課題、その解決方法に応じた行い方を理解する。
- ・運動やスポーツが、体力、技能、年令や性別、障害の有無などにかかわらず、様々な人々を結び付けたり豊かな人生を送ったりする上で重要であることを知る。

家庭学習では・・・

- ① 外で元気よく遊ぶ。
- ② 運動・食事・休養・睡眠を十分にとる。

(3) 体育カード

○低学年（鉄棒カード抜粋）

○高学年（体力向上カード 抜粋）

運動 月	① 前くつ運動		② あお向けうでたてふせ <small>腰が落ちないようにする</small>	
	○ むねがついた	○ ひたいがついた	○ ひじがついた	
運動記録	5回1セット		何セットできた	
6月1日				セット
2日				セット
3日				セット
4日				セット
5日				セット
6日				セット
7日				セット
8日				セット
9日				セット
10日				セット
11日				セット
12日				セット
13日				セット
14日				セット
15日				セット
16日				セット
17日				セット
18日				セット
19日				セット
20日				セット
21日				セット
22日				セット
23日				セット
24日				セット
25日				セット
26日				セット
27日				セット
28日				セット
29日				セット
30日				セット

どの学年も、イラストを入れてどんな技かが分かり易いカードを使って、学習しています。高学年では、毎日の積み上げを大切にしていくために、家庭学習として体力向上カードを使って、無理のないように、毎日頑張っていきます。カードだけでなく、休み時間に校庭で元気よく遊んだり、ホニチャレンジで体を動かしたりして、子供たちの体力向上へつなげていきます。

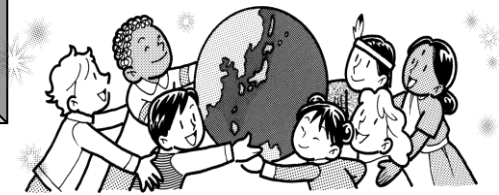
(4) 保健領域の大切さ

なぜ、保健領域の学習をするのか。それは身近な生活における課題や情報を、病気の予防やけがの手当の原則及び、健康で安全な生活について着目して、病気にかかったり、けがをしたりするリスクの軽減や心身の健康の保持増進と関連付けるためです。

子供たちが生涯にわたって正しい健康情報を選択したり、健康に関する課題を適切に解決したりできるようにしていきます。そこで、保健に関わる原則や概念を根拠としたり活用したりして、疾病などのリスクの軽減や生活の質の向上、さらには健康を支える環境づくりを目指して、情報選択や課題解決に主体的に取り組むようにしていきます。

小学校では、小学校3～6年生にかけて「健康な生活」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」「病気の予防」について学習し、健康で安全な生活を送ろうとする意識を育てていきます。

外国語・外国語活動



(1) 外国語の大切さ

なぜ、外国語を学習するのか。

外国語やその背景にある文化を理解し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを行う力を高める教科です。異なる言語・文化を理解したり、自分の気持ちや考えを積極的に伝え合ったりすることは、このグローバル社会を生き抜く子供たちにとって大変重要なことです。また、外国語で表現し、伝え合うためには、語彙や表現についての知識や技能、情報を整理して自分の考えをしっかりと持つこと、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることが大切なのです。

小学校中学年の外国語活動、高学年の外国語は、共に中学校・高校の外国語へと接続しており、コミュニケーション能力を支える素地・基礎となります。中学年では「聞くこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」、高学年ではこの3つに加え「読むこと」「書くこと」を扱います。しかし、小学校で中心となるのは音声です。つまり、身近で簡単な事柄を聞いたり話したりすることが基本です。最も大切なのは、「りんごが好きだと伝えたい時は“I like apples.”という音を出すんだ」というように、外国語の意味と音声をまるごと結び付けることです。ここに、小学校の授業で外国語を学ぶ意義があります。

小学校で身に付けた力を基に、中学校では「Iが私で、likeは好きという動詞で…」というように、音声に加え、文字や文法を明示的に学習してレベルアップしていきます。

(2) 外国語活動の学習方法



外国語活動の3つのポイント！

○外国語の音声や文字、語彙や表現などの知識、それをを用いる技能を高める。

外国語は、まず「聞くこと」からスタートします。意味（どんなことを伝えたいのか）を推測しながら、音声（何と言っているのか）を聞きます。初めは分からなくても、絵やジェスチャー、文脈を手がかりに意味を推測しながら聞き続けることが大切です。そして、言えるところから少しずつ言いましょう。

○コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを伝え合う。

お手本を真似て言えるようになったら、次は自分の頭で考えて話すことが大切です。相手にどんなことを伝えたいのかという、自分の思いを大切に活動します。

○主体的にコミュニケーションを図る。

授業では、間違いを恐れず、どんどん発言しましょう。コミュニケーションを通して、自己を表現したり、他者と共感したりする力も高めていきます。

家庭学習では・・・気づきを大切に！

言葉や文化について、気付いたこと、気になったことを自分で調べることで、さらに理解が深まります。色々な国の言葉や文化について調べたり、比較したりしてみることで、自分たちの言葉や文化との共通点や相違点、その成り立ちや特徴などの新しい発見につながります。

(3) 振り返りカードの使い方

外国語 ふりかえりシート Reflection Sheet

ローマ字で書ける人はローマ字で。

振り返りカードは1単元に1枚書きます。まずは、単元名またはめあてを書きます。

番号 No. _____ 名前 Name _____

単元名(めあて) **行きたい国とその理由を伝え合おう。**

A...よくできた B...できた C...もう少し D...できなかった

		英語の表現やきまり、日本語との違いに気付くことができた	場面に合った自分の考えや気持ちを伝えることができた	積極的にコミュニケーションをとることができた
ふりかえり (がんばったことや気付いたこと、活動した感想)				
1	2/2 (月)	(A) B C D	A B (C) D	A B (C) D
<p>国の言い方には、日本語に似ているものとそうでないものがあることが分かった。行きたい国を言うときは、アイウォントウゴウトウのように言っていた。次は、国の名前だけでなく、その部分も上手に伝えられるようにしたい。</p>				
分かったことやできるようになったことを詳しく書きます。				
2	2/9 (月)	(A) B C D	A (B) C D	A (B) C D
<p>行きたい国を言うことができた。自分はシンガポールに行きたいと伝えたら、〇〇さんも同じでうれしかった。理由をたずねるときは、Why?と言うことが分かった。次は理由も相手に伝えて、伝えるようにしたい。</p>				
次の時間への見通しも大切です。				
3	2/16 (月)	(A) B C D	(A) B C D	A (B) C D
<p>理由も言えたので、より伝わりやすくなり、友達が「なるほど」という顔をしてくれた。自信がついてきたので、よりは、きり言うことをがんばった。国の名前は、最初が大文字になっていることが分かった。次から気をつけて書きたい。</p>				
友達の良かったところ、すごいと思ったところも書きます。友達の良いところを見付けられるのは、ポイントが分かっているということです。				
4	2/23 (月)	A (B) C D	(A) B C	(A) B C
<p>〇〇さんは、パンダが好きだから中国に行きたいと言っていた。ゆくりは、きり話していたので分かりやすかった。友達の考えはさまざまで、英語でたずね合うのは楽しいと思った。今度、行きたい都道府県でもみんなと話し合いたい。</p>				

日付を書きます。付

毎時間の最後に、3つの項目について4段階で自己評価をします。

外国語では、振り返りカードを使って1時間毎に学習の振り返りを行います。振り返りを通して、次の活動に向けて目標をもったり、「できた！」という達成感を味わったりしてほしいと考えています。小学校のうちに色々な語彙や表現に慣れ親しむことが、中学校以降の外国語の学習に繋がっていきます。

特別の教科 道徳



(1) 道徳の大切さ

なぜ、道徳の学習をするのか。

社会を構成する私たちが生きていく中で、色々な問題に出会うことがあります。その問題を乗り越えていくためには自分で考えたり、時には友達と協力したりしていく必要があります。また、きまりを守って生活することや良いことか悪いことか判断し、行動することも生きていくためには大切なことです。

道徳の学習では主に4つの視点があります。道徳の時間はその一つ一つについて、みんなで話し合ったり、自分の考えを聞いてもらったり、友達の考えを聞いたりすることで、自分はしたらよいかを深く考える時間なのです。みなさんが自立した一人の人間としてよりよく生きていこうとする態度を身に付けてほしいと思います。

・主として自分自身に関すること

「よいことと悪いことの区別をする、望ましい生活習慣を身に付ける、自分の特徴、長所に気付く、着実にやり抜く強い意志をもつ、工夫して生活をよりよくする」など

・主として人との関わりに関すること

「親切にする、礼儀正しくする、感謝をする、思いやりの心をもつ、互いに励まし合う、それぞれの個性や立場を尊重する」など

・主として集団や社会との関わりに関すること

「約束や社会のきまりを守る、家族の幸せを求めて進んで役に立つことをする、役割と責任を自覚し集団生活の充実をめぐる、郷土や国を愛しその発展をめぐる、他国の文化を理解し、国際親善に努める」など

・主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

「自然や動植物を大切にす、生命を大切にす心をもつ、美しいものや気高いものに感動する心をもつ、人間の強さや気高さを理解し、生きる喜びを感じる」など



低学年	自分のやるべき勉強や仕事ができるようになり、友達と仲良くし、助け合うことや、理解する力もだんだん育ってくるとともに、やって良いことと悪いことの判断ができるようになります。生きることの素晴らしさを知り、自他の生命を大切にし、身近な自然に親しんだり、動植物に優しい心で接したりすることを大切にします。
中学年	自分の行為について自分で正しい判断をして、自信をもって行うことが大切な時期でもあります。相手を理解し、自分と異なる意見も大切にすることを学びます。また、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る態度を育てます。他国の人々や文化に親しみ、関心をもつことも大切です。
高学年	自律的に判断し、責任ある行動をすることが大切です。また、友達と互いに信頼し、学び合うことで友情を深め、人間関係を築いていくようになります。他国の人々や文化について理解し、国際平和に努めることも重要です。よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じ、未来への夢や希望を育むことができるように、子供自身が自分の理想とする考えを大切にしていけます。

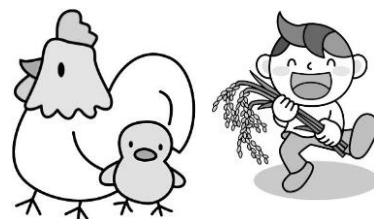
(2) 授業では・・・考え議論する 多面的、多角的な思考を促します。

- ・登場人物や場面について想像する。
- ・自分のこれまでの体験をもとに、ねらいとする価値について考えさせる。
- ・これまでの体験や生活について振り返り、話し合い等を通して、ねらいとする価値を意識したり、気付くようにしたりする。

(3) ご家庭では・・・

子供たちが、よりよく生きる力や豊かな心を育てていくように学校と家庭とで一緒に考えていきましょう。ご家庭での「しつけ」を大事にするためにも道徳の学習について話題にする機会をもつとよいでしょう。

総合的な学習の時間



(1) 総合的な学習の時間の大切さ

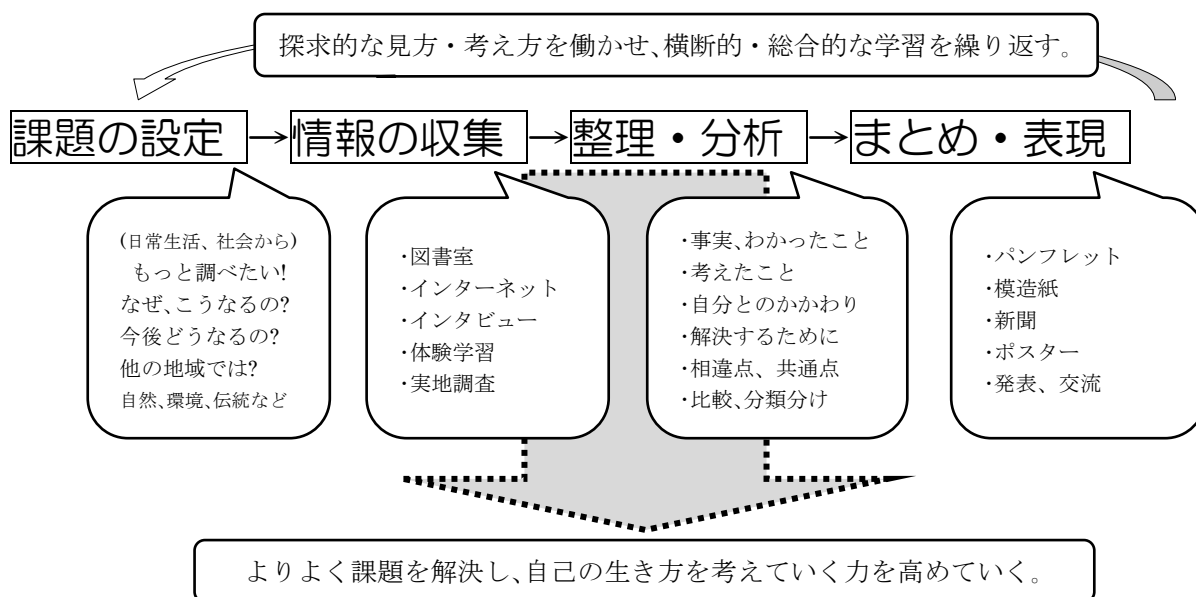
なぜ、総合的な学習の時間を学習するのか。

国際化や情報化、少子高齢化をはじめとする社会の変化が進む中、子供たちは、①探求的な見方・考え方を働かせ、②横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、③自己の生き方を考えていくための資質・能力を身に付けることが必要です。そのための学習が、総合的な学習の時間なのです。

3年生では「地域や外国の文化を学ぼう」や「地域安全マップづくり」、4年生では「飼育活動」や「自分たちの成長を振り返る学習活動」、5年生では「お米プロジェクト」や「エコアクション」、6年生では「日本の伝統文化などの体験活動」を行っています。また、共通して、パソコン学習も行います。

これらの活動を通して、「命の大切さ」や「国際理解」「社会環境」「情報」「福祉・健康」などを学びます。総合的な学習の時間だけではなく、他教科等で学んだ見方や考え方を横断的・総合的に活用（カリキュラム・マネジメント）し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を育てていきます。

(2) 総合的な学習の時間の学習方法



(3) 家庭学習では・・・

社会の様々な出来事に興味を持ち、経験することで学習を深めていけるような体験をしましょう。

- ① 新聞、子供新聞を読む。
- ② インターネットや図鑑や本を使って、情報をまとめる。
- ③ 自然体験やボランティア活動、社会体験などを行う。
- ④ 自分の調べたいものの観察や実験をする。

(3) リーフレットやパンフレットの紹介

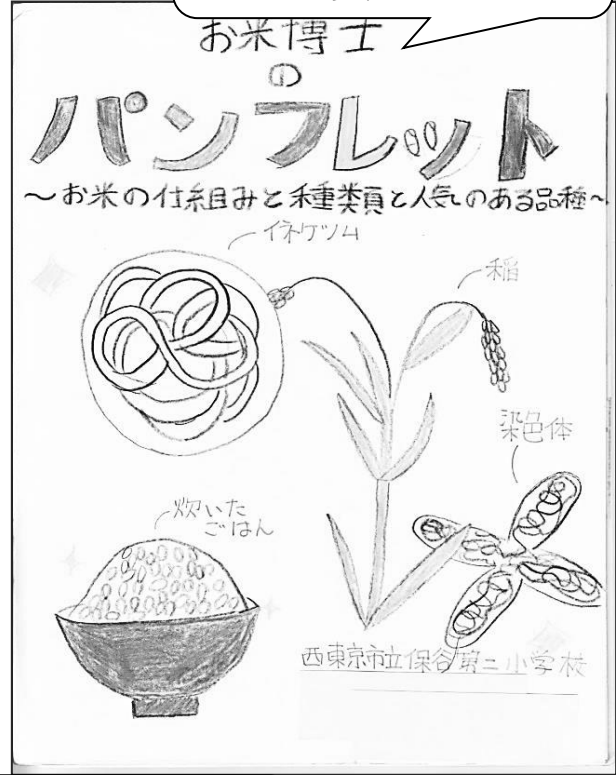
〈中学年〉

4年生の飼育引き継ぎ集会のために作成したパンフレット



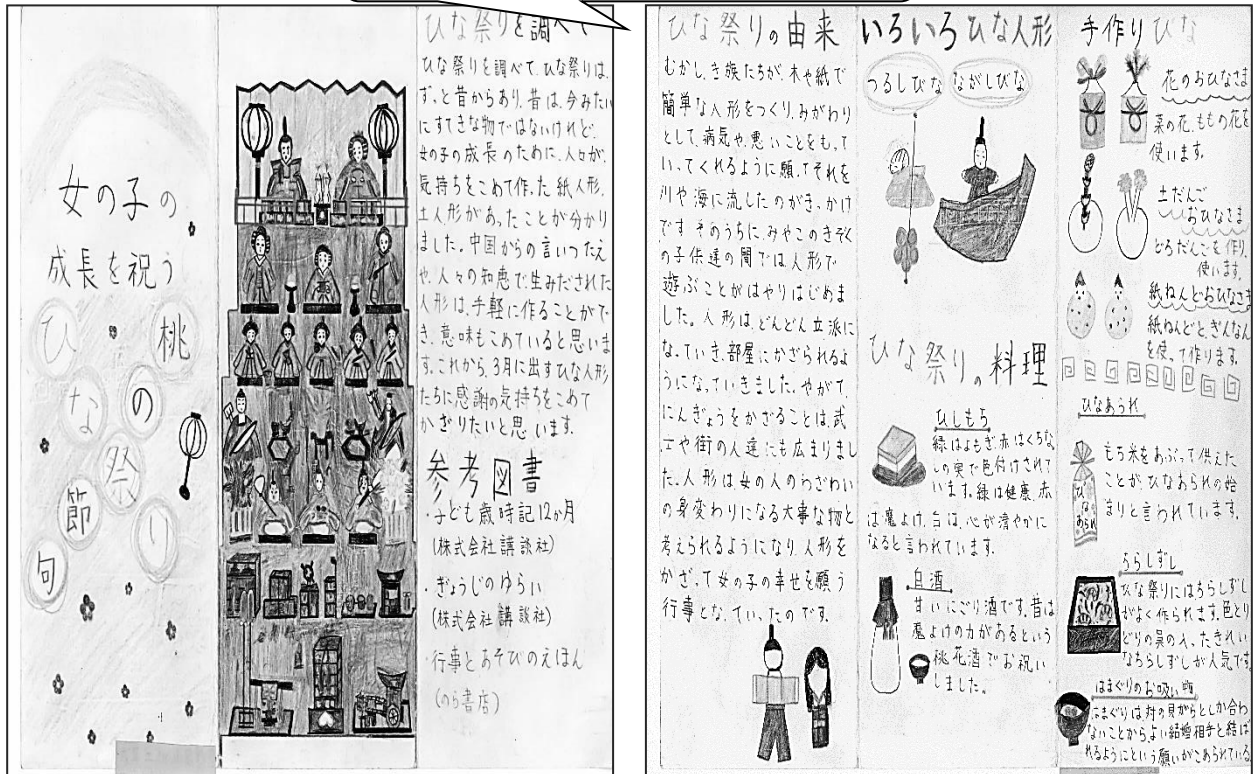
〈高学年〉

5年生が自分で課題設定し、お米についてまとめたパンフレット



〈高学年〉

6年生が日本の伝統文化について調べ、まとめたリーフレット



保健指導



(1) 保健指導の大切さ

3年生以上は、体育科の保健領域で健康な生活を送ることの大切さについて学びます。保健指導では、1年生から健康について具体的な内容を取り上げて考えていきます。自分の日常生活はこれで良いのかを振り返り、健康に生きていくにはどうすれば良いのかを考える力を育てていきます。さらに今の自分の健康だけではなく、大人になった時(老人になった時)の元気な自分をイメージすることで、生涯に渡って生きていくための力になってほしいと考えています。

(2) 保健指導計画(年間2回 9月・1月 発育測定時)

学年	学年別テーマ	9月題材	1月題材
1	自分でできること	けがの手当て 自分でできること 来室の多いけがについて、そのけがの名前、自分でできる手当てについて知る。また、自然治癒力について知る。	大切な体(男の子と女の子の違い) 髪、肌、背、一人一人違った成長。 お互いを大切にし、身体にいらぬものなど無い。暴力とんでもない!
2	感染症予防	爪の話 爪の役割(健康チェック)。手入れの仕方。手洗いは感染症予防の第一歩。	冬の健康とインフルエンザ インフルエンザとカゼ、何が違うの?罹らない為に必要な行動、予防について。
3	安全な生活に向けて	薬の使い方と決まりについて 私達の身近にある薬。その種類、使用方法のルール。副作用の存在。ルールを無視して手に入る薬は本物ではない!(薬物乱用防止の観点も含める)	こんなときどうする?(安全指導) 少女の帰り道の紙芝居で、一緒に考えよう。自分たちを守る約束と注意について。宿題は、家の人と安全のための約束についてもう一度話すこと。
4	皮膚について 自律神経との関連	皮膚の清潔(汗の始末とワカチ) 汗の役割について知る。自律神経の働き。生活の中での入浴の必要性。ハンカチの必要性。	冬の衣服について(薄着でがんばろう) 自律神経は鍛えられる(日々の生活の積み重ね)。暖かい服の着方。
5	思春期について 生活も含む 個人差	ぐっすり休もう (生活リズムについて) 自身の生活リズムについて再度確認。	月経と精通の復習(生理時の手当て) 4年時の保健の復習をし、実際の生理時の手当てについて知る。男女の変化と個人差について再度確認する。
6	卒業前に	アレルギーについて(主に食物) アレルギーはいつ誰が発症するかは不明。予備知識を持つ。発生時の対応を知る。	スポーツ障害と子供の骨 生涯運動を楽しむ事を目当てにし、スポーツに取り組む。子供の骨の特徴を知る。